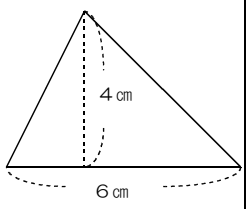
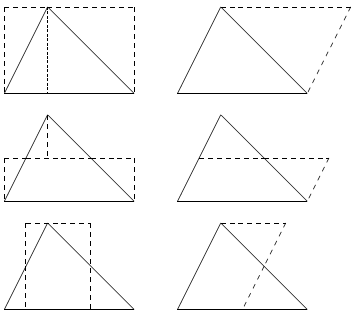
第５学年算数科学習指導案

１　単元名　図形の面積
２　本時のねらい
　長方形や平行四辺形に変形することによって、三角形の面積を求めることができる。
３　準備物
　【教師】掲示用三角形、ワークシート、作業用の三角形、平行四辺形の変形（掲示）
　【児童】平行四辺形のワークシート
４　展　開

学習活動・内容（時間：分）	教師の働きかけと評価（評価方法）
１　平行四辺形の面積を求めた学習を振り返り、本時の課題をつかむ。（５） ・既習の図形 （長方形、平行四辺形） ・求積の工夫 （等積変形、倍積変形）	○　これまでの学習を想起させ、既習の図形に変形すれば、三角形の面積も求められそうだという見通しをもたせる。 
長方形や平行四辺形に変形して、三角形の面積を求めよう。	
２　長方形や平行四辺形に変形する方法を考える。　(15) 	○　細かく切り刻むのではなく、まとめて移動させるなどできるだけ単純に変形する方法を考えるとともに、一人で多様な変形を考えるよう助言する。 ○　変形の過程がわかるように記入させるとともに、変形方法を言葉で説明したり、式をかいて面積を求めたりするよう助言する。 ○　切って移動させる必要がある児童には、三角形を与えて操作させる。 ㊥　三角形を既習の図形に変形することができる。（ワークシート）
３　三角形の面積の求め方について話し合う。　(20) ・（６×４）÷２　倍積変形 ・６×（４÷２）　等積変形 ・（６÷２）×４　等積変形	○　発表の際には、途中まで発表させ、その後の説明や変形を予想させることにより、自らの課題として考えられるようにする。 ○　計算に使った部分を明確にしておき、公式づくりにつながるようにする。 ○　子ども達が考えた変形を掲示に残しておき、今後の学習に生かすようにする。 ㊥　変形をもとに、三角形の面積を求めることができる。（発言、ワークシート）
４　本時のまとめをする。　（５） ・求積に必要な部分 ・次時のめあて（三角形の面積の公式づくり）	○　既習の図形に変形するおもしろさやよさを振り返り、三角形の求積公式をつくる意欲付けをする。 ○　様々な変形の中に見られる共通要素（数値）に目を向けさせる。